

令和元年 第 10 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和元年 10 月 25 日（金）
- 2 招集場所 大河原町役場 委員会室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、鈴木洋教育長
- 4 説明のため出席した者
教育総務課長 佐藤 勝弘、生涯学習課長 八島 良隆、学校教育専門監 池田 尚人
- 5 開 会 午後 1 時 30 分
- 6 令和元年第 9 回教育委員会定例会の承認について
鈴木教育長 | （委員全員に諮って）承認する。
一盃森委員、古山委員 署名。
- 7 教育長報告
 - （1）一般事務報告について
一般事務報告 なし
 - （2）専決事務報告
報告第 5 号 専決処分の報告について
（令和元年度大河原町一般会計補正予算（第 6 号））
災害支援法の適用により床上浸水の場合、学用品を現物支給する。教科書は無償給付。
- 6 議事
なし
- 7 その他
 - （1）教育長報告
前回の校長会で大河原の水害歴史について話をした後に、今回の台風 19 号がきて、垂直避難の仕方等を改めて見直そうと話した。当日、学校への避難者は約 1440 名。当初避難者数を過小評価していたが、時間がたつにつれて、避難者が増えた。校長、教頭には午後 3 時から各学校に待機してもらった。もし、町の避難所が間に合わないときは学校が避難所を想定していたが、そのとおりとなった。

1 全国学力・学習状況調査質問紙調査「学校に行くのが楽しいと思う」について

「学校に行くのが楽しいと思う」項目の数値が大河原小学校はだんだん上昇している。南小学校の学力は低い为学校に行くのが楽しいと思う子が多い。金ヶ瀬小学校は安定して高い。いろいろな小学校が集まっているからか、大河原中学校は7割くらい。金ヶ瀬中学校は小学校に引き続き高い。学年によっても違うが、学校に行くのが楽しいと思う割合を高めていきたい。

2 「宮城からいじめをなくそう」

ケアハウス新聞で取り上げてもらった。ケアハウスは不登校になった子への対応策。不登校への未然防止の対応は、よくわかる授業を行う、学校が楽しいと思える授業や行事をやっていこうとしている。調査項目のひとつに、「学校が楽しいか」があり、達成の評価指標になっている。

毎年、「いじめ問題を考えるフォーラム」において宮城県教育委員会からのメッセージが出される。みんなで悲しむようなことがおきないように、配布してほしいと話した。いじめを受けている人、している人、傍観者などの構図があるので、いろいろ考えてほしい。

3 「新聞報道」

大河原中学校の1年生が白石川清掃活動をした新聞記事。中学生未来会議で誇れるまち、住みたい町にするための提案をしてきている。人のためにやるボランティア活動を中学生がしていることを、もっとPRをしなくてはいけない。

運動会の花火

議会において、運動会の花火は障害のある子にとっては、非常に大変なこと。夜勤の方にとっても迷惑なこと。このような意見もあるということをPTAにも聞いて、意見を集約してほしいと話した。小学校では運動会の時、朝6時と、入場の時に打ち上げている。

4 教職員に事故帽子

仙台市の不祥事。個人情報が入った裏に印刷して渡した。これは初歩的なミス。以前はギャグで済まされたことが、今は通用しないことがある。

5 その他

(1) 管理職選考

教頭一次試験の合格者。宮城県87.2%、管内96.7% 大河原町100%。

(2) 人事関係のブロック会議が始まるので、校長の次年度のプラン、方針を聞いて望んでいく。

上海の小学校との交流

大河原小学校の保護者の家にホームステイし、翌日交流した。泣き虫な男の子が、習字と外国語の時間には堂々としていた。異文化理解、英語の必要性を非常に感じた。子

供達が、片言の英語で交流していた。

幼少連絡会

幼稚園保育所と小学校の接続をうまく行っていくために小学校 1 年生の授業を、幼稚園の先生に見学してもらった。幼稚園の中には卒園までにこうなったらいいなというプログラム、小学校で引きついでいくスタートカリキュラム内容を検討していく。

働き方改革

業務改善のアイデアとして、札幌市は 3 学期なのに、通信表は 2 回にしている。白石、七ヶ宿、川崎、仙台市が 2 学期制で通信表は 2 回。蔵王も 2 学期へ。女川町は地域に合わないため、2 学期制から 3 学期制にもどした。

3 学期が大河原町、日本の教育にあっているのではないか。ただし、業務改善を考えると通信表が 2 回と 3 回で先生が負担になる。3 学期の評価は本当に簡単でいいと思っている。1 学期と 2 学期の所見は指導要録につながるように。通信表の所見が負担になっているので、3 学期の所見は「進級、卒業おめでとうございます。」と、その子の頑張りを 1 行程度にまとめる。来年度については、3 学期制を堅持する。

(質 疑)

丹 羽 委 員

私立小学校で IQ に関する授業があるところがある。クイズや頭を柔らかくするようなことを子どもにゲーム感覚で学ばせている。授業中に笑いがあって、活気がある。公立学校は難しいのか。そつなく授業をするのではなくて、息抜き。先生が余裕をもって、笑のある授業になるようにするには、先生の個性になってしまうのか。

池 田 専 門 監

その先生の、持ち味もあるが、そればかりになってしまうのは、良くない。

舟 山 委 員

先生のいじめが話題になっている。宮城県では、先生方への指導をしてほしい。

一 盃 森 委 員

神戸市など巨大な都市が人事を掌握できない。

古 山 委 員

通信表は回数が多ければ単純に負担が大きくなるのか。2 回だと、子供達の評価につながるのか。

池 田 専 門 監

所見が難しい。その子に頑張してほしいをどのように評価するか、枠内に記入する文章が長くなった、先生の負担が大きい。

鈴 木 教 育 長

保護者の立場としてどうか。

古 山 委 員

子供達のことを良くみていただいていると感じる。親にも伝わるように書いているのがわかる。たくさん書いているのがわかる。枠の中にがんばりましたね、だけではなくよく見てくださるのは、よく伝わる。うれしい。

舟 山 委 員

回数が多いほうが親はいいだろう。

一 盃 森 委 員

通信表をみたとき、この子をよくみている先生だと感じる時があった。

舟 山 委 員

通信表のために、コメントを書いておいた。具体的なことを少し入れていくと親

	はうれしい。
丹羽委員	私は、当てられなかったら、良かったと思った。当てなくて、すまなかったと言われたが、そういうことが、言える関係がいい。
鈴木教育長	学校からのメッセージを伝えることは必要だし、働き方改革もある。
一盃森委員	所見を読めばわかる。学級経営が上手な先生は、所見も上手だった。
(台風19号)	
鈴木教育長	金ヶ瀬地区は被害が少なかった。一番初めに、オーガの避難所がいっぱいになった。合同避難訓練をして、毎年避難場所の確認をしている。
一盃森委員	今後、町で避難指示、広報車、サイレンを鳴らす、物資の見直し等を図っていくと思う。いろんな課題が見えた。地震はライフラインがダメだった。学校の在り方、対応の仕方を考えていくの必要があるのでは。 合同の避難訓練は行政区長、防災担当だけでははく、地区で家にいる人にも出てほしい。回覧版なんか必要ではないか。町民で共有していく必要がる。
舟山委員	金中地区は、地区と一緒にやっている。中学生はいろいろやってくれている。
丹羽委員	中央公民館は上町、元町から垂直避難する場所。
古山委員	台風のと、学校でここが危ないとか、危険が箇所をイメージできているのか。
池田専門監	大中として、垂直避難の訓練した。今後ハザードマップを活用していく。
一盃森委員	ハザードマップだけでは、わからないところを、学校でおさえて、なぜこんなに浸水するのか、教える必要があるのではないか。
丹羽委員	大河原の堤防が決壊したら、2階に行けばよい。どの辺まで水があがるのか。を想定しておかなければならない。
池田専門監	いかに早く避難するのが大切だ。学校にも早く避難してほしい。

8 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回は令和元年11月27日(水)午後1時30分から定例会を開催する。

9 閉会宣言 午後15時00分

令和元年11月27日

署名委員

署名委員